

仙台医療福祉専門学校
令和6年度 学校関係者評価報告書

令和7年6月

学校法人 北杜学園
仙台医療福祉専門学校

◆ 令和6年度 学校関係者評価について

学校法人北杜学園 仙台医療福祉専門学校は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいた評価項目に沿って実施・作成した、「令和6年度自己点検・評価報告書」の結果について、学校関係者評価委員会を開催し、学校関係者評価を実施いたしました。

本校に関係の深い方々から幅広くいただいたご意見・ご提言を評価項目毎に要約し、本報告書に取りまとめました。「令和6年度自己点検・評価報告書」と共にご覧ください。

関係の皆様からいただいた貴重なご意見・ご提言は今後の改善策に盛り込み、学生により良い教育と環境を継続的に提供し、常に質の高い専門職業人を養成してまいりたいと存じます。

令和7年6月
学校法人 北杜学園
仙台医療福祉専門学校
校長 工藤 広一

◆ 学校関係者評価委員会 評価委員

氏 名	選 出 区 分	所 属 ・ 役 職
とがみ けんいち 戸上 謙一	関係施設	有限会社 ファーマシーすず 統括本部 統括部長
すがさわ まさや 菅澤 昌也	関係施設・卒業生	医療法人 松田会 介護保険部 部長
こいずみ のぶやす 小泉 敦保	関係施設	株式会社 バイタルケア 代表取締役社長

評価項目	(1) 教育理念・目標
①	理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）
②	学校における職業教育の特色は何か
③	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
④	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか
⑤	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか
評価委員からの評価・意見	
・ 留学生の入学が増加傾向にあることと、留学生の国家試験合格率を向上させるという両立の困難さを確認した。基礎的な日本語能力が低い学生は、それ以外の学生と比較して専門的な知識の理解のスタートが遅くなる。国家試験合格率向上のために継続して課外授業の日本語特別授業及び、模擬試験を引き続き行っていただきたい。 ・ 留学生の特徴として、卒後、学校と疎遠になってしまうことは非常に残念と思う。学校と本人（就職先）をつなぐ良いアイデアはないだろうか。 ・ 翻訳ツールとして、TOPPAN の透明翻訳ディスプレイを紹介する。 ・ 学校経営として、今後、留学生受け入れ数と日本人との比率増加を考えた場合の環境整備を検討する時期に来ているのではないか。また、留学生（受験生）には有意義な学生生活を送ってもらうために選考で留学生の日本語のレベル・質を見極め、生活に支障があると思われる留学生に対して制限をかけることも必要ではないかと考える。 ・ 社会福祉学科の既卒生に対する社会福祉士受験のトレース、また、卒後フォローアップ勉強会を年4回開催していることを評価すると共に継続して実施していただきたい。 ・ 通常、4大では社会福祉士と精神保健福祉士のダブル受験を実施していることが多い。本校通信課程でも社会福祉士と精神保健福祉士のダブル受験を可能にすることはできないか。可能であれば時間的制約が多い社会人のニーズに合致すると思う。	

評価項目	(2) 学校運営
①	目的等に沿った運営方針が策定されているか
②	事業計画に沿った運営方針が策定されているか
③	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
④	人事、給与に関する制度は整備されているか
⑤	教務・財務等の組織設備など意思決定システムは整備されているか
⑥	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
⑦	教育活動に関する情報公開が適切になされているか
⑧	情報システム化等による業務の効率化が図られているか
評価委員からの評価・意見	
・ 企業のコンプライアンス研修やハラスメント研修は概ね3か月に1回のペースで実施し、周知徹底している。これら研修は10分程度の動画を視聴し最後に5分程度の確認テストを実施するスタイルである。社員の受講状況は本部で把握している。専門学校でも検討してみてはどうか。	

評価項目	(3) 教育活動
①	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
②	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
③	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
④	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
⑤	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
⑥	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置付けられているか
⑦	授業評価の実施・評価体制はあるか
⑧	職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか
⑨	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか
⑩	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置付けはあるか
⑪	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
⑫	関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか
⑬	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか
⑭	職員の能力開発のための研修等が行われているか
評価委員からの評価・意見	
・ これまで行っていなかった非常勤講師への授業アンケートを実施し、フィードバック及び、フィードバックへのフォローを実施しているとのことで、継続的していただきたい。 ・ 実践的なカリキュラムとして民生委員等、校外を訪問していることを確認した。 ・ 若い人材の確保について、闇雲に採用するよりは、本校を理解している卒業生から採用するというアクションをとってもよい時期ではないか。入職後のミスマッチも防ぐことができる。	

評価項目	(4) 学修成果
①	就職率の向上が図られているか
②	資格取得率の向上が図られているか
③	退学率の低減が図られているか
④	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
⑤	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか
評価委員からの評価・意見	
・ 卒後の就職先の把握は 100%できていることを確認した。その後の転職先を把握するため及び、施設へ人材を紹介するために紹介業を行ってはどうか。その際、県外の施設や実習施設外の施設へのネットワーク構築や同業に就かない場合も多いことが懸案として考えられる。 ・ 最初から精度の高いネットワークは構築できないので、手始めに多くの卒業生を受け入れている就職先から在籍職員のデータベース構築を開始してはどうか。 ・ 同施設・同病院内での本校卒業生同士のつながりはある。これをうまく活用できないか。 ・ 退学するハイリスク学生の多くは、高校時の欠席過多、通信制高校から入学、心療内科等受診歴を抱え入学してくることを確認した。今回、教職員の意見を伺い十分な対策をとっていることを確認したので、評価を3ではなく4でもよいのではないかと判断する。 ・ 退学率の数値目標を達成できなかったための評価3と判断するが、ハイリスク学生に対しての取り組みは十分なので、評価を3ではなく4でもよいのではないか。 ・ 留学生への修学資金出資の制度は存在するが、日本人学生へもそのような制度はあるのか。仲介業者への多額の手数料を考えると施設・病院としても検討したい。	

評価項目	(５) 学生支援
①	進路・就職に関する支援体制は整備されているか
②	学生相談に関する体制は整備されているか
③	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか
④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか
⑤	課外活動に対する支援体制は整備されているか
⑥	学生の生活環境への支援は行われているか
⑦	保護者と適切に連携しているか
⑧	卒業生への支援体制はあるか
⑨	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
⑩	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
評価委員からの評価・意見	
・ メンタルヘルスの知識習得の機会を得ることを期待したい。 ・ 礼拝室やレセプションルーム等の設備設置は十分に評価できる。これらは入学を検討している高校生の入学判断基準にもつながり効果的である。これからも計画的なリニューアルに期待する。	

評価項目	(６) 教育環境
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
②	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
③	防災に対する体制は整備されているか
評価委員からの評価・意見	
・ 通信課程においての宮城を除く東北５県の実習先確保について①本校からの実習施設開拓と②受講生自ら開拓（選定）していることを確認した。今後を見据えて積極的に実習先を多く確保しては如何か。 ・ インターンシップ（ボランティア）活動を入学年次に行えば、就職へのイメージがつくのではないか。今の学生は働くことへのイメージが形成されていないことが多く、就職のミスマッチを防ぐことも期待できる。	

評価項目	(7) 学生の受入れ募集
①	学生募集活動は、適正に行われているか
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
③	学納金は妥当なものとなっているか
評価委員からの評価・意見	
・ 特になし	

評価項目	(8) 財務
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
③	財務について会計監査が適正に行われているか
④	財務情報公開の体制整備はできているか
評価委員からの評価・意見	
・ 特になし	

評価項目	(9) 法令等の遵守
①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
③	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
④	自己評価結果を公開しているか
評価委員からの評価・意見	
・ 前述したようにコンプライアンス研修を検討してください。	

評価項目	(10) 社会貢献・地域貢献
①	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
③	地域に対する公開講座、教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を積極的に実施しているか
評価委員からの評価・意見	
・ ボランティアマインド育成という観点から地域貢献として、民生委員や地域包括支援センターとの関係性をさらに強めていていただきたい。 ・ 学校を挙げて地域清掃することも学校のアピールとして効果的ではないか。 ・ 学生の意見を取り入れた活動であれば、学生が自主的になり行動するのではないか。	

評価項目	(11) 国際交流
①	留学生の受入れについて戦略を持って国際交流を行っているか
②	受入れにおいて適切な手続き等がとられているか
③	学習成果が評価される取組を行っているか
④	学内で適切な体制が整備されているか
評価委員からの評価・意見	
・ 日本の歴史と文化があるように、各国の歴史と文化を感じとるために日本人の我々が彼らの出身国に行き、感じることも良いのではないか。 ・ 各国にはお国柄がある。当然、日本人との相性もある。将来的な受け入れ基準として日本に対応しやすいお国柄を優先するという考え方も選考の一つとしてよいのではないか。	